

NIFAだより

Niiza International Friendship Association

新座市国際交流協会

2025年3月

NIFA
第76号

日本に来たきっかけは何ですか。

5歳のころに見たアニメ「ドラえもん」が大好きで、日本に行きたいと思うようになりました。

日本での生活で、困ったことや驚いたことはありますか。

道端で野菜が無人販売されていることや、無人でもちゃんとお金を払っていることに驚きました。中国には無いものです。

出身の国の有名なものについて教えてください。

雲南省には、イ族の火把節(たいまつ祭り)やアシ人の火祭りがあります。火把節は、新年とする旧暦の6月に、焚き火を囲んで3日間歌ったり踊ったりします。最近は多くの観光客が見学に来ています。

日本で学んだことを将来どのように活かしていきたいですか。

将来は、国際貿易の仕事に就きたいと思っています。4月から十文字学園女子大学の文芸文化学科に進学するので、頑張って勉強をしたいと思っています。

最後に一言お願いします。

日本に来て一年ですが、大学の先生や生徒の皆さんに優しくしてもらい、無事に大学入学ができました。とても感謝しています。

#01

フ・コウさん
(中国・雲南省出身)

Interviews with Foreign Citizens

#02

タマン・メヌカさん
(ネパール出身)

日本に来たきっかけは何ですか。

叔母が5年前日本に住んでいて、美しい景色や文化の話を聞いていたので、いつか行きたいと思っていました。

日本での生活で、困ったことや驚いたことはありますか。

日本に来た時は、日本語がわからなかったので、全てに困っていました。日本語を教えてくれた先生に感謝しています。

出身の国の有名なものについて教えてください。

ネパールはエベレストが有名です。また、お釈迦様の生誕地ルンビニも有名です。ルンビニには、釈迦の石像や菩提樹の木があります。

日本で学んだことを将来どのように活かしていきたいですか。

来年大学受験をします。大学では介護の勉強をして資格を取って、日本で働きたいと思っています。

最後に一言お願いします。

大学の先生や生徒の皆さんがとても親切で優しいので、毎日が楽しいです。ずっと日本で過ごしたいです。

新座市に住む外国籍市民の方にインタビューをしました！

日本に来たきっかけは何ですか。

定年退職後、妻の故郷である日本に住んでみたいと思い、新座市に引っ越してきました。

日本での生活で、困ったことや驚いたことはありますか。

日本での生活は20年ぶりなので、忘れていたことも多く困っています。故郷のトロントでは、インフォメーションセンターが185か国語で対応していたのに比べ、日本では欲しい情報が見つけづらいと感じます。

「赤毛のアン」は、カナダの人にはどのような存在ですか。

日本の昔話のように、皆、子供の頃に読みます。カナダでは、モンゴメリーのほか、マーガレット・アトウッドという作家が有名で、多くの女性に支持されています。

最後に一言お願いします。

故郷に比べ、誰もがくつろげるような公園やベンチが少ないことに寂しさを覚えます。また、歩道が狭く危険だと感じる道路があり、今後、新座がより暮らしやすくなることを願っています。

#03

K・Zさん
(カナダ・トロント出身)

開催しました

1.18(土)

レバノン料理講座



レバノン出身のマヘルさんを講師にお招きして開催した本講座でしたが、参加者の年齢層も幅広く、約20名の方が参加しました。

レバノンの家庭料理は初めて知る方も多く、独特の調理方法に新たな発見の連続でした。食材や調味料はシンプルですが、食材の味をしっかり引き出した料理であり、参加者一同満足のひとつきを過ごすことができました。

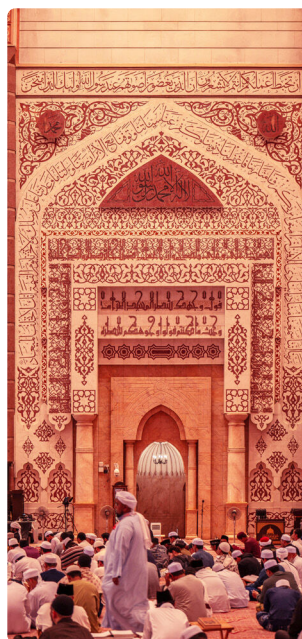
【豆知識】

レバノン料理は、ジャスミン米とオリーブオイルで炒めた細めのパスタと一緒に茹でてライスを作ります。日本米は、世界では「甘い」食材だと思われており、プディングなどのお菓子の材料になるそうです。



メッセージを頂きました

レバノン料理講座の講師をしてくださったマヘルさんを父にもつアティエ・シャネル・愛子さん(NIFA理事)。家族全員が信仰しているというイスラム教と日本での生活について、メッセージを頂きました。



私の家族は、全員イスラム教を信仰しています。子供たちの宗教教育は、父親がイスラム教の宗教的徳を教え、母親が日本社会で生活する上で必要な徳を伝えています。イスラム教の信仰は個人の意志を尊重するので、家族の中でも実践の仕方に違いがあります。我が家は私：ヒジャブを被る、母・妹：ヒジャブを被らない、というように各々の意思で実践しています。

イスラム教の実践には、祈り(サラ-)、断食(ラマダン)、食事の規律(ハラール)などがあり、日本でこれらの規律を実践するには生活との両立に工夫が必要です。特に学校生活では、給食の豚肉問題、金曜礼拝の時間調整、体育や水泳の服装の対応など、多くの課題がありました。ヒジャブを被る私たちは偏見の目で見られることもありましたが、先生方の協力で多様性を尊重するという教育内容により、周りの子供たちの意識が変わり、学校に通いやすくなりました。ハラール食品の入手は困難ですが、東京オリンピックを境に日本の食品業界の対応が改善されたので、今後も他国(ドイツ)のように多様性に応じた食品の発展があれば期待しています。

私は国際交流活動を通じてイスラム文化を紹介し、多文化共生を促進する努力を続けています。イスラム教は平和と隣人愛を重視し、異文化の中でも調和を大切にする宗教です。対話と理解を深め、共に暮らしやすい社会を築くことが重要だと考えています。

(執筆：アティエ・シャネル・愛子)

編集後記

今回発行の第76号は、協会としての行事が少なく、広報情報委員が新座市在住の外国籍の方にインタビューしてきました。年々、新座市に住む外国籍の方が増えています。協会として交流ができる機会を増やしていければと思います。

鈴木 明子

新規入会・会員更新のお願い

会員の皆様には、会員登録の更新をお願いします。

令和6年度の会費を郵便局(同封の振込用紙にて振込み)又は事務局窓口でお納めください。

なお、新規会員も随時募集しています。お気軽に事務局へお問い合わせください。

会員区分	会費
個人	一口 1,000円
団体	一口 5,000円
法人	一口 10,000円